

プログラムデザインコース

■ 「足元の自然を活かした体験プログラムから学ぼう！」

～指導者に求められる心構えや工夫～

研修実施者：団体名 ホールアース自然学校 福島校 [http://www.wens.gr.jp/fukushima/]

日 時：2023年10月1日（日） 10：00 ～ 16：30

会 場：国立磐梯青少年交流の家（福島県耶麻郡猪苗代町字五輪原 7136-1）

定 員：25名程度

講 師：山崎 宏 氏 [NPO 法人ホールアース自然学校 代表理事]

和田 祐樹氏 [NPO 法人ホールアース自然学校 福島校代表]

小原 賢二氏 [NPO 法人ホールアース自然学校 新潟校]

棚橋 乾 氏 [全国小中学校環境教育研究会 顧問]

ア ク セ ス：①無料送迎バス（郡山駅 ⇄ 国立磐梯青少年交流の家 ※所要時間約60分）

朝：JR 郡山駅前 8:40 出発予定 夕：国立磐梯青少年交流の家 16:45 出発予定

②マイカー利用

集 合 時 間：9：50（受付 9：30 ～ 9：50）

集 合 場 所：国立磐梯青少年交流の家

プログラム（予定）

	9:30～9:50 受け付け、 9:50 集合
10:00	開講・環境省挨拶
10:05	講師紹介・会場について、ねらいの共有等
10:20	【体験】互いを知る時間
11:10	【講義&ワークショップ】体験のふりかえり
12:00	昼食・休憩
13:00	【体験】身近な自然を使った体験プログラム
14:10	休憩
14:25	【ワークショップ】体験のふりかえり
15:30	【講義】学校とつながるためのワンポイントアドバイス
16:00	研修全体のふりかえり
16:20	事務連絡、閉講

※ 当日の天候等で、プログラムに変更が生じる場合があります。

※ 室内での研修実施中はマスク着用のご協力をお願いします。

※ 「学校とつながるためのワンポイントアドバイス」の講師は棚橋乾先生です。

※ 研修終了後、簡単な事後アンケートにご協力ください。

プログラムデザインコース

■ 事業者情報（会社概要、活動概要など）

ホールアース自然学校は 1982 年に創設されました。国内では最も古い自然学校の一つに数えられています。本部は静岡県富士宮市。静岡県内の 3 箇所に加え、福島・新潟・岐阜・沖縄にも活動拠点を有します。正規職員は 35 名。「自然語で話そう!」をスローガンに、『一人ひとりが「人・自然・地域が共生する暮らし」の実践を通じて感謝の気持ちと誇りをもって生きている』社会の実現を目指しています。

様々なキャリアを積んだスタッフが、各種自然体験型環境教育プログラムの提供に加え、指導者の養成や企業研修の受入、企業の環境活動支援、農業や野生鳥獣対策など、多様な活動を展開中。学校教育との連携としては、修学旅行や林間学校、オリエンテーション合宿などの対応が挙げられます。こうした教育旅行の受入れは年間 200 校を超え、創設以来、100 万人以上の児童・生徒にプログラムを提供したと推計されます。近年は、第一次産業と連携した環境教育、企業と連携した環境教育、オンラインを活用した環境教育、自然資源を活用した地域づくりの支援、生物多様性保全の推進などにも力を注いでいます。約 40 年にわたるこうした活動を評価いただき、「エコツーリズム大賞」(2007 年)、「日韓国際環境賞」(2018 年)などを受賞しています。

福島校は、東日本大震災後に被災沿岸地域の支援活動を経て、2013 年に福島県出身のスタッフを中心に設立されました。「離されてしまった子ども達と自然との関係性を取り戻す」ことをミッションに、教育活動としての自然体験キャンプ「ふくしま遊牧民キャンプ」を実施しています。現在では受託・伴走する教育キャンプ活動を含め、年間約 200 名の子ども達に参加いただいています。また、県内自然教育団体で創るネットワーク組織「子どもが自然と遊ぶ楽校ネット」にも発足時から参画。2014 年には郡山市湖南町に活動の拠点を構え、教員免許状更新講習時の専門講習や、地元小中学校や高等学校のコミュニティスクール導入に際しての地域内外との協働コーディネート、昨今の「総合的な探究の時間」導入にあたっては、学校現場のカリキュラム策定のお手伝いや授業内容の構築のお手伝いをしてきました。国立大学法人福島大学行政政策学類とも地域人材教育のための包括連携協定(2019 年～)も結び、地域観光の推進や人材育成等、自然・環境の分野、官・民、営利・非営利のセクターを越えた事業を実施しています。

